

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道4号 仙台拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局	
起終点	自：宮城県仙台市宮城野区苦竹 至：宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷				延長	4.6 km	
事業概要	一般国道4号は、東京都中央区から青森市までの福島市、仙台市、盛岡市等の東北地方の主要都市を結ぶ、延長約874kmの主要幹線道路である。 仙台拡幅は、仙台市宮城野区苦竹から宮城野区鶴ヶ谷における延長4.6kmの6車線拡幅事業である。						
H元年度事業化	H6年度都市計画決定 (H-年度変更)	H3年度用地着手	H4年度工事着手				
全体事業費	243億円		事業進捗率	73%		供用済延長	2.8km
計画交通量	82,300台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年 平成25年	
	(事業全体) 1.3	事業費：55億円/277億円 維持管理費：6.3億円/16億円	62億円/293億円	走行時間短縮便益：96億円/361億円 走行経費減少便益：5.0億円/18億円 交通事故減少便益：0.44億円/1.5億円	102億円/381億円		
(残事業) 1.6							
感度分析の結果	【全体事業】交通量変動：B/C=1.3~1.3(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=0.9~1.7(事業期間±20%)						
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 (渋滞損失時間346.0万人・時間/年、渋滞損失削減率：約8割削減) ②安全で安心できるくらしの確保 (三次救急施設へのアクセス向上)(現況：45分 → 整備後：43分)						
関係する地方公共団体等の意見	○仙台市長の意見 ・事業の継続実施について異議ありません。 ○以下の団体等から、仙台拡幅の整備促進について要望あり ・宮城県(宮城県知事) ・仙台市(仙台市長) ・宮城県道路利用者会議(宮城県トラック協会会長) ・仙台都市圏自動車専用道路整備促進期成会(仙台商工会議所会頭) ・国道4号拡幅改良(4号線)建設促進期成同盟会(大崎市長、大衡村長、富谷市長)						
事業評価監視委員会の意見	対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	・事業進捗率73%(うち用地進捗率99%)(平成28年3月末時点)						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・事業の進捗に係る問題はない。						

